

精神病院体制の終わり

認知症の時代に

立岩真也
Izumi Shinya

この「悪」が相も変わらず存在しつづけているのはなぜか
——精神科の収容から地域移行、認知症者の取り込みと安楽死、病院転換型居住施設まで、この社会の思惑を精査し、精神病院を「やめられない」構造を抉り出す。その構造を終わらせる「真の」改革のための提言へ。

青土社
定価 本体2800円＋税8%

精神病院体制の終わり

認知症の時代に

立岩真也＝著

定価3024円（本体2800円＋税8%）

青土社 ☎03-3291-9831

医療や命について発言を続ける社会学者が、半世紀にわたる行政の施策と精神科医療従事者の活動をつぶさに精査。精神病者の病院への収容から地域移行、認知症者の新たな取り込み、そして病棟転換型居住系施設の構想まで、私たちの社会が「精神病院」を「やめられない」構造をあぶり出す。さらに、その構造をどうすれば「終わらせる」ことができるかについても積極的に提言する。精神医療に携わる人が読めば反論したい部分はあると思うが、「一歩外の人はこのように見ているのだ」と知るとは意味があるはず。

考えて、行動する主任になるための 知っておきたい「看護管理」

得丸尊子、朝久野洋子＝著

定価2484円（本体2300円＋税8%）

関西看護出版 ☎0725-33-0371



突然、「管理する側」の地位を与えられ、教育も受けてないし、どうしていいかわからない……。そんな看護師向けに、理解しておくべき看護管理の知識や、どう行動すればよいかの指針を示した1冊。「看護の成果が見える組織」を目指す新たな視点は、あなた自身を成長させるかも。

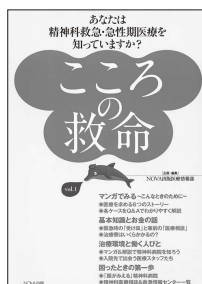
こころの救命

あなたは精神科救急・急性期医療を知っていますか？

NOVA 出版医療情報部＝企画・編集

定価1404円（本体1300円＋税8%）

NOVA 出版 ☎03-3375-2507



切迫した精神状態の人を適切な医療へと導くためのガイドブック。「離脱症状」「希死念慮」「措置入院」などの6つの具体的エピソードをマンガを使って展開、その後 Q&A でわかりやすく補足解説する。治療環境や治療内容、そこで働く人々について、さらには緊急時の窓口なども掲載されている。

子どものトラウマ治療のための絵本シリーズ ねえ、話してみて！

ジェシー＝作・絵、飛鳥井望、亀岡智美＝監訳、一杉由美＝訳

定価1836円（本体1700円＋税8%）

誠信書房 ☎03-3946-5666



身内から性的虐待を受けた女の子が、勇気をもって心を開いていく過程を描いた絵本。子どものトラウマ治療を目的とするが、大人が読んでも、子どもの気持ちを知る助けになる。「死」とはなにかを学ぶ1巻、衝撃的な出来事に遭遇し、二次被害に苦しむ子どものための本2冊と同時発売。

認知症新時代

私らしく生きる

毎日新聞生活報道部＝著

定価1404円（本体1300円＋税8%）

毎日新聞出版 ☎03-6265-6746



2014年の1年間、新聞記者が、認知症の当事者と彼らを支える人々たち取材した。さまざまな当事者の姿は、我々の既製概念を揺さぶっていく。当人の思いに基づく医療や介護、町づくりのあり方を考える参考にもなる。